



**RHYTHMIC
GYMNASTICS**





ワールドカップシリーズ2026

団体審判員への指示



内容



このプレゼンテーションには以下の内容が含まれる：

- ・ 採点規則 アップデート
- ・ 前回の世界選手権で支障を引き起こした要素の例
- ・ Q&A

審判会議中に映像研修を実施する



身体難度 - DB



- ・各スライドのタイトルに注目してください！



プレゼンテーションの構成



- ・ 2025リオデジャネイロ世界選手権からのDEに関する質問
- ・ 誤差のあるDB
- ・ フェットテバランス - 例
- ・ 2025リオデジャネイロ世界選手権のブロック



DE - 試みと試みではない



注意！

・採点規則4.2

最低4回、最高5回のDEが時系列で評価される

減点：4回未満のDEの実施につき0.3点

5回を超えたDEを実施した場合、時系列で最初の5回のみが評価される

制限を超えた追加のDEは評価されない（減点なし）



DE - 試みと試みではない






例





DE - 評価



| T | DE |  |  |  | DE ○ ≠ | T | Risk R3 Z | DE ○ ≠ | DE ○ |
|------|---------------------|---|---|---|-----------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 0,60 | 試みてない | 0,40 | 0,00 | X | 0,40 | X | 0,40 | 0,40 | 0,30 |
| | 選手は投げたり、投げる準備をしていない | | | (ホップ) 真ん中の選手 | | 手具操作なし ボール | 追加基準無し フープ | 基準1つのみ ボール | 追加基準無し フープ |

4 DE未満の場合、減点は0.3点



DE - 試みか試みでないか(完全なルーティーンではない)



RHYTHMIC GYMNASTICS





DE - 評価



| | ⌋ | DE |
|------|---|------|
| 0.00 | | 0,00 |
| | | 試み無し |

2.3.3.団体が時系列で最初の9個のうち**4個のDBが不足した場合**(全く実施されなかった、または5名全ての選手たちが演技しなかった場合(実施ミスにより1-2名の選手が参加しなかった場合を除く)):

DEが4個未満の場合、0.30の減点

選手の大多数(3名)が手具の投げに参加していないため、この状況を試みとはみなさない。



DE - 試みと試みではない





評価



| |
|-----------|
| DE |
| 0,00 |
| 試み |

2.3.3.団体が時系列で最初の9個のうち**4個のDBが不足した場合**(全く実施されなかった、または5名全ての選手たちが演技しなかった場合(実施ミスにより1-2名の選手が参加しなかった場合を除く)):

4DE未満でないため減点なし

1名の選手のみがDEに参加していないため、この状況は試みとみなすことができる。4.1.1



誤差のあるDB



胴体の誤差
0.50



胴体の誤差
0.50



フェットテバランス - 例



ホップ
価値0.00



床に触れた
価値0.00



床に触れた
価値0.00



2025リオデジャネイロ世界選手権のブロック

(質問の場面)



質問の場面



0.50の誤差
右隅の選手



ジャンプ／リープ
0.00or0.40？

0.40

(手具操作は許容範囲。
腕の動きは肩から始まる)



質問の場面



**DE
0.20**

DE中に手具同士が接触しているだけであればDEは有効だが、軌道に変更が生じた場合DEの価値は0.00になる

衝突だった可能性もあるが、手具が画面上部にあるため確認できない



バランス
0.60 or 0.00 ?
誤差0.30 or 0.50 ?

誤差が0.50のため、価値は0.00



質問の場面



R 0.60

~~⊗~~ ≠ R3 Z

(技術的なミスのため、Rは同時に実施できない。

Rは評価される。)

例：5.2.4.1



異なる手具を使用したDEに関する注意喚起



同じ手具を使用して実施したDE



異なる手具を使用して実施したDE





異なる手具を使用したDEに関する注意喚起



DEは同じ手具を使用してサブグループごとに実施された



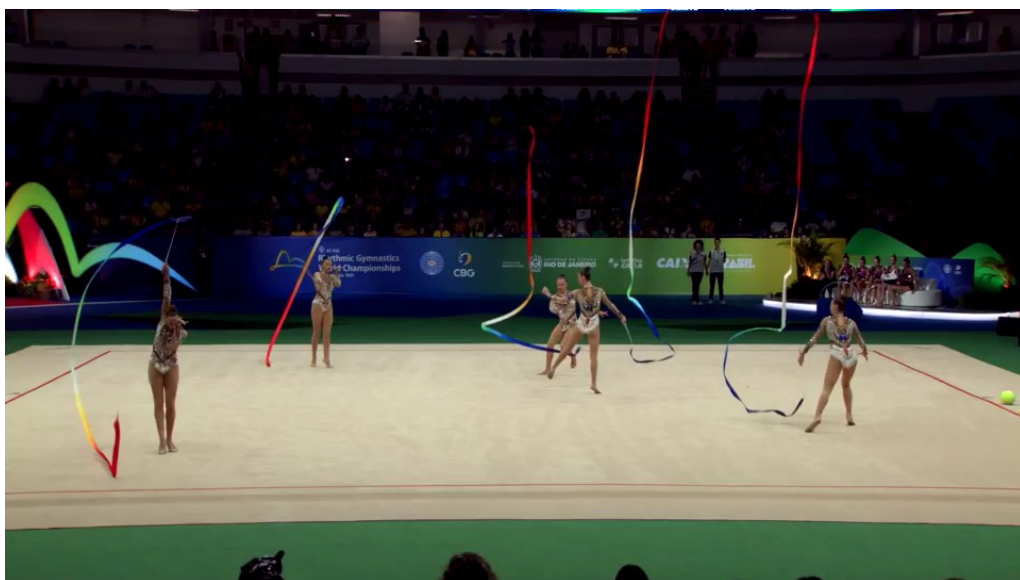
DEは異なる手具を使用してサブグループごとに実施された



手具難度 - DA



CCの基準が有効かどうかは、“主要動作”がどのように実施されたかによって決まる



主要動作は《引き戻し》

インパルス（きっかけ）は視野内で手のみ使用
- CC=0.2点



主要動作は《押し出し/引き戻し》

インパルス（きっかけ）は脚と手を同時に使用
- CC=0.4点



DA



RHYTHMIC GYMNASTICS

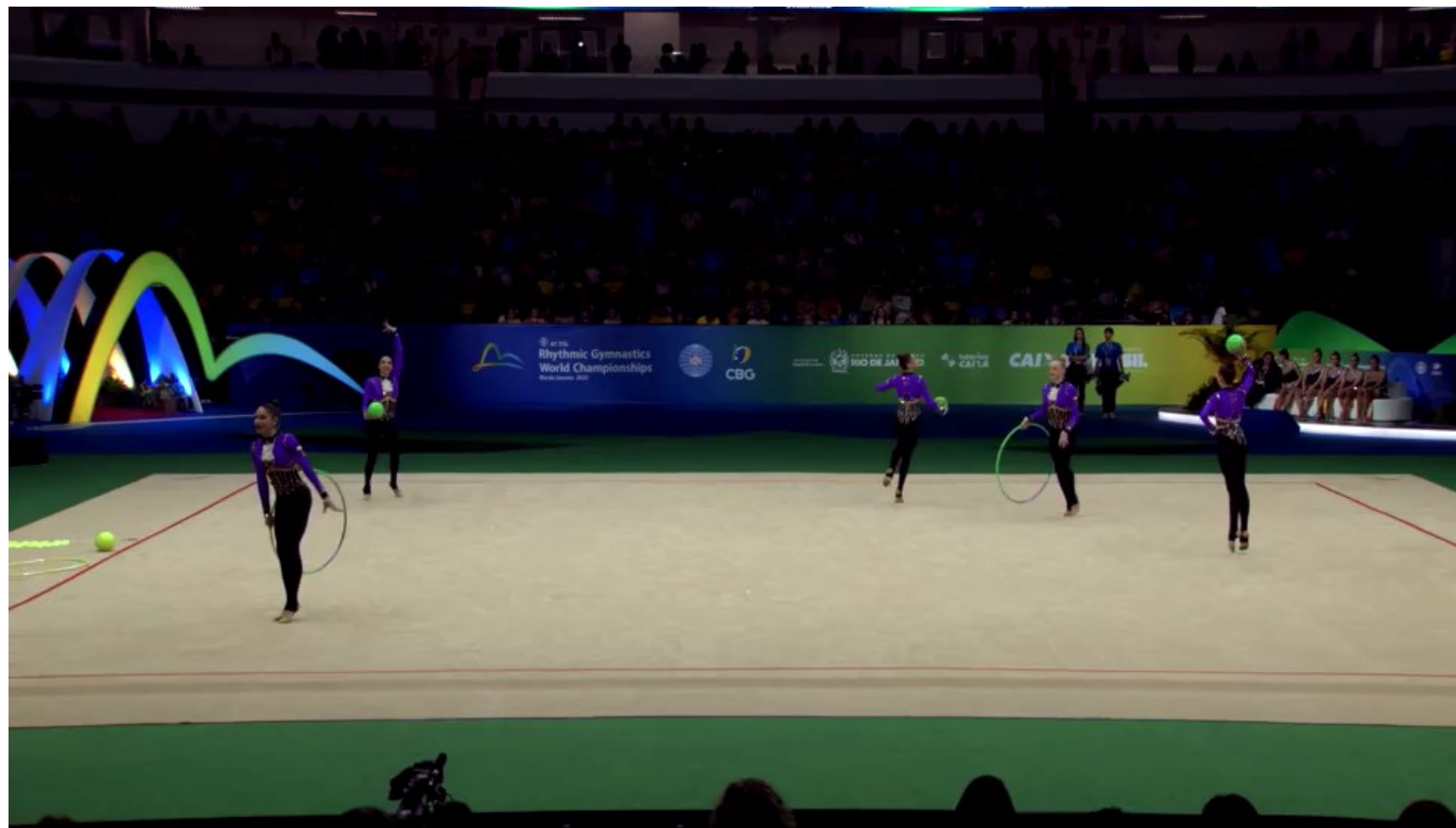


CR 3 を試みたが、“主要動作”の一人が回転を実施しなかった

⇒ $\otimes \text{CR } 2 - \ominus = 0.5$



DA



複数投げを試みたが、1つのフープが高さも距離もなかった
⇒DCノーカウント



DA



複数投げを試みたが、1つのフープが高さも距離もなかった
⇒DCノーカウント



土台を作る際に、レオタードやハーフシューズなどを使用することは禁止されている。

もし使用されていた場合、“通過”の基準は無効となる

ただしDC（関係）自体は有効となる場合がある。



芸術



• 審判の皆様へ

- 本プレゼンテーションの演技例は、分析対象の構成要素について、審判間に有意な評価差が見られた**統計データ**に基づいて選定されている。
- すべての演技はリオデジャネイロ世界選手権のものであり、**得点や順位とは関連しない**。
- 目的は、**芸術性評価の理解を深め、最終結果の精度を高めること**。
- これらのTCプレゼンは、コーチが芸術的パフォーマンスの構成要素の評価を理解するためにも重要である。



- したがって、ここでは**芸術得点を付与しているわけではないこと**を理解してほしい。私たちは、審判間の評価の差を減らすために、各構成要素を**どのように個別に評価するか**を議論している。
- また、芸術的パフォーマンスは**大会ごとに異なる**ものである。ある大会では非常に良い芸術性を発揮しても、別の大会ではそうではない場合があること、あるいは予選では良い芸術性を示せなかったが決勝では卓越した芸術性を発揮する場合があることも理解する必要がある。



- ▶ 審判は、過去大会や以前の競技段階の得点を再現してはならない；すべての審判は、**大会当該時点**の芸術的構成要素の評価に関わるCOPに基づき評価する必要がある。
- ▶ したがって、ここで使用されている例は、特定の大会における**特定の演技**に基づくものであり、その選手がすべての演技で受けるべき得点を示すものではないことを明確にすることが重要である。



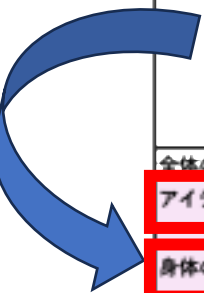
**DB・DA審判が
難度のさまざまな可能性を評価するのと
同様に、
芸術審判も
各構成要素を評価する必要がある。**



団体： _____ 日付： _____ 手具： _____ 団体総合 _____ 予選 _____

個人ノート

ノート →



| | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|------------------|------------------|
| 要素/期間： | | | | |
| イントロ OK 0.0 | イントロ 4秒以上 -0.3 | | | |
| ステップ OK 0.0 | 1つノーカウント -0.3 | 2つノーカウント -0.6 | | |
| パフォーマンス/リズム/フォーム 0.0 | 1つノーカウント -0.3 | 2つノーカウント -0.6 | 3つノーカウント -0.9 | 4つノーカウント -1.2 |
| 共同作業 同時性 -0.3 | コントラスト -0.3 | カノン/素早い連続 -0.3 | コーラル -0.3 | |
| 連続性 OK 0.0 | 連続性の中断 -0.6 | | | |
| 手具と選手間の接触 OK 0.0 | 5秒またはそれ以上手具なし -0.3 | 開始時または終了時に手具との接触を欠く（構成上の欠点） -0.6 | 許可されない造形 -0.6 | |
| 演技終了時に音楽と動きのハーモニーがある 0.0 | 演技終了時に音楽と動きのハーモニーに欠ける -0.3 | | | |
| 演技終了時に音楽と動きのハーモニーに欠ける -0.3 | | | | |

| | | | | |
|----------------|-----|------|------|------|
| 全体の減点 | | | | |
| アイデアのガイドと動きの特徴 | 0.0 | -0.3 | -0.6 | -1.0 |
| 身体の実現 | 0.0 | -0.3 | -0.6 | |
| 表情 | 0.0 | -0.3 | | |
| フォーメーション | 0.0 | -0.3 | 図形 | -0.3 |
| | | | 大きさ | |

| | |
|---------------|-------|
| 減点のカウント： | |
| つなぎ (0.0-2.0) | _____ |
| リズム (0.0-2.0) | _____ |

減点合計 **減点の合計**

審判No. _____ 署名 _____



アイディアのガイド (GUIDING IDEA) と特徴 (CHARACTER)



1st リメンバー：団体のパーツ

- パーツとは、連続する難度／キャラクターを伴ったコネクションで構成される：



| | | | |
|------------|--------------------|------------|--------|
| DB | CW (Connection) | | 1 Part |
| DB | R | Connection | 1 Part |
| DE | CC | CR | 1 Part |
| Connection | DE | CR | 1 Part |





アイディアのガイド (GUIDING IDEA) と特徴 (CHARACTER)



| 構成要素 | 0.0 p. | 0.3 p. | 0.6 p. | 1.0 p. |
|-----------|--------------------------|-------------------------------|--------------------------|------------|
| アイディアのガイド | 演技全体 全てのパーツに 特徴がある | 演技の大部分 一部のパーツで 特徴が欠けている | 5パーツ 大部分で特徴が 欠けている | 5パーツ 未満 |
| 団体 | | | | |



0.30の減点は、団体の演技で最低限以下を満たすことが必要である：

5 パーツ

+

- ・ アイデアのガイドがある
- ・ 演技の大部分に特徴がある
- ・ 身体部位の優れた多様性がある
- ・ 動きの種類の優れた多様性がある
- ・ グループワークの構成に多様性を伴うまたは伴わない（必須の条件ではない）



アイディアのガイド (GUIDING IDEA) と特徴 (CHARACTER)



減点
0.30



- 5 パーツ
+
- ・ アイデアのガイドがある
 - ・ 演技の大部分に特徴がある
 - ・ 身体部位の優れた多様性がある
 - ・ 動きの種類 of 優れた多様性がある
 - ・ グループワークの構成に多様性を伴うまたは伴わない (必須の条件ではない)

CHARACTER 1

CW CC CR DB CON DE CR CP CON DB DE CON CR S CR CR CC CP DB CON
 DE CON DB CW CP CR CC CON DB R CR CR DE CON S
 1 2 3 4 5 6 7

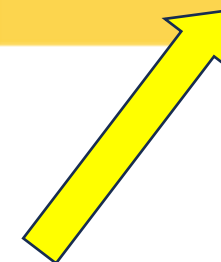
審判員の採点：0.30 / 0.60 / 1.00



アイディアのガイド（GUIDING IDEA）と特徴（CHARACTER）



| 構成要素 | 0.0 p. | 0.3 p. | 0.6 p. | 1.0 p. |
|------------------------|--------------------------|-------------------------------|---------------------------|-------------|
| アイディアのガイド 団体 | 演技全体 全てのパーツに 特徴がある | 演技の大部分 一部のパーツで 特徴が欠けている | 5 パーツ 大部分で特徴が 欠けている | 5 パーツ 未満 |



0.60の減点は、団体の演技で最低限以下を満たすことが必要である：

5 パーツ

+

ディテールと音楽の間に明確な統一性がある
多様性の有無（必須条件ではない）



アイディアのガイド (GUIDING IDEA) と特徴 (CHARACTER)

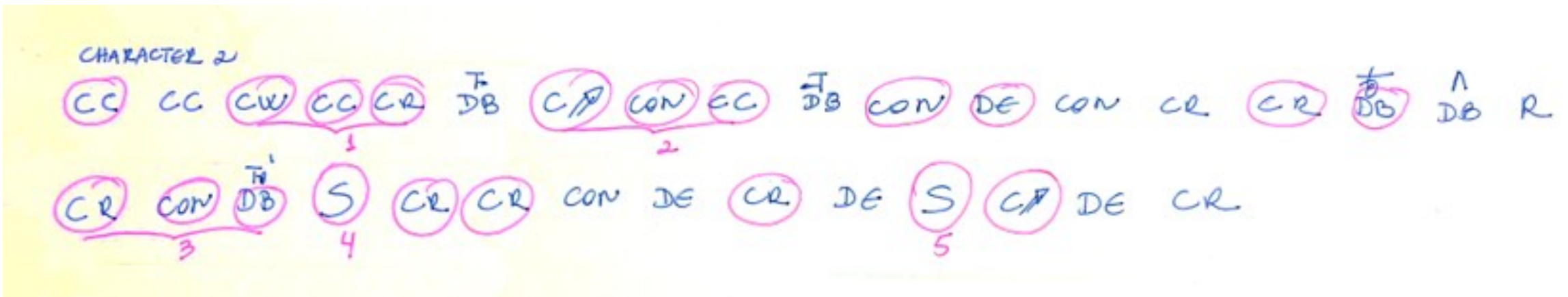


減点
0.60

5 パーツ

+

ディテールと音楽の間に明確な統一性がある
多様性の有無 (必須条件ではない)



審判員の採点 : 0.30 / 0.60 / 1.00



アイディアのガイド (GUIDING IDEA) と特徴 (CHARACTER)



減点
0.60

5 パーツ
+

ディテールと音楽の間に明確な統一性がある
多様性の有無 (必須条件ではない)

CHARACTER 3

CC CON DB CC CR C/P DE CON DB CR CON DB S DB CON CR CR

CR DE CR CC CON CC DB R CR CON C/P CON DE CR S DE C/P

審判員の採点 : 0.30 / 0.60 / 1.00

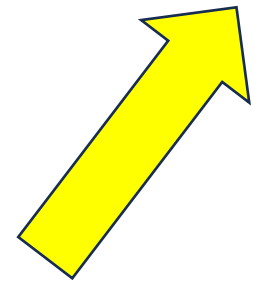
1 2 3 4 5



アイディアのガイド（GUIDING IDEA）と特徴（CHARACTER）



| 構成要素 | 0.0 p. | 0.3 p. | 0.6 p. | 1.0 p. |
|------------------------|--------------------------|-------------------------------|--------------------------|------------|
| アイディアのガイド 団体 | 演技全体 全てのパーツに 特徴がある | 演技の大部分 一部のパーツで 特徴が欠けている | 5パーツ 大部分で特徴が 欠けている | 5パーツ 未満 |



1.00の減点は、
5つのパーツを認識できなかった場合
であることを理解することが重要である。



アイディアのガイド (GUIDING IDEA) と特徴 (CHARACTER)



減点
1.00

5パーツを認識できなかった

CHARACTER 4

CC C/P DB CR DB DE CR DB S₂ CR CON DE DE CR DB DE CR
 C/P CW CC CON CR R CON CC C/P DB S₄ CR CR

審判員の採点：0.30 / 0.60 / 1.00



身体表現 (BODY EXPRESSION)



この演技には、**身体各部位**の動きが硬直的であったり、全く関与していないように**見える部分(パーツ)**が一切ない。

| 構成要素 | 0.0 p. | 0.3 p. | 0.6 p. |
|-----------------------------|----------------------------|--------------------------|------------|
| 身体表現が完全に発達している 団体 | 大部分 一部のパーツは十分に発達していてもよい | 2パーツ 大部分は十分に発達していてもよい | 2パーツ 未満 |

演技の一部で発達している
または発達していない
と／または...
硬直的／無表情／集中した表情を見せる瞬間が4つ以上

音楽の解釈を表現する能力が限られている

演技の一部で完全に発達している
そして...硬直／無表情／集中した表情を見せる瞬間は4回未満

音楽の解釈を表現する能力が限られている

0.30点の減点は、「**身体の一部によって表現された身体表現**」に対するものではない。審判は、**演技のどの部分が十分に発達した身体表現で行われているかを評価する必要がある。**

したがって、演技全体で展開される表現のパーツがない場合、いくつかのパーツまたは練習全体で表現が部分的に展開されているように見えても
(表現しようとする孤立したセグメント) 0.60点減点



身体の表現 (BODY EXPRESSION)



減点
0.60

身体の各部位が完全に連動して提示されたのが1箇所、および身体各部位の関与が硬直しているか存在しないように見える孤立した瞬間が4回以上ある。
例：硬い腕や体幹を伴うもの。
(音楽の解釈を表現する能力が限られている)

BODY EXPRESSION

~~CA~~ CON CR CC DB S DE CR CR CON S CON DE DB CON CR CR CON
 N P P N T P N N N N (T) N N N P N N N T
 CC CON DB DB DE CON CR CA CC CR CON DE CA CR
 N N N N N N N P N N T N N N

審判員の採点：0.00 / 0.30 / 0.60

N-表現がない
P-部分的な表現
T-全体的な表現



特徴 (CHARACTER) × 身体の表現 (BODY EXPRESSION)



減点
0.00

始めから終わりまで演技全体でアイデアと特徴が完全に発達し、実現できた演技は、**減点なし**：

- ・組織的な作業の異なる様式に優れた多様性がある。



減点
0.60

身体の一部が完全に連動して提示されたのが1箇所、および身体の一部の関与が硬直しているか存在しないように見える**孤立した瞬間が4回以上**ある。
例：硬い腕や体幹を伴うもの。
(音楽の解釈を表現する能力が限られている)

CHARACTER

CON CC CON XI DB XI CON CR CON CR CP DE CON CR DE DE CON C↓ CON
DE DB CW CC CR CON R CON CC F DB CON S CW CP CR DB S CR CON CR CR

3 4 5 6 7

BODY EXPRESSION

CON CC CON XI DB XI CON CR CON CR CP DE CON CR DE DE CON C↓ CON
DE DB CW CC CR CON R CON CC F DB CON S CW CP CR DB S CR CON CR CR

N N P N N P P N P P N P N P N P N N

審判員の採点：0.30 / 0.60

審判員の採点：0.00 / 0.30 / 0.60



表情



| 構成要素 | 0.0 p. | 0.3 p. |
|----------------------|-----------------------------|------------|
| 表情： 最優先 団体 | 2パーツ 大部分は優先順位が 低くても良い | 2パーツ 未満 |

1名またはそれ以上の選手達において、表情が完全に発達していない、または一部分しか発達していない場合、**0.30点減点**される：
2つ未満のパーツで表情が完全に優先される、**と／または**：
4回またはそれ以上の独立した部分で顔が無表情になるまたは集中している表情になる。

団体の全ての選手達によって同時に、演技全体を通じた表情と演技の一部で完全に発達したかな表情がある場合**減点なし**：
・最低でも2つのパーツで、表情を完全に優先して実施する。
・顔は演技の一部として関与する一表情の強さはそれほどでなくてもよい。
・4回未満の独立した部分で顔が無表情、または集中している表情になる。



表情



減点
0.30

2 パーツ（大部分は優先順位が低くても良い）があるが、
その中には
硬直／無表情／一点に偏っているように感じる部分もある

FACIAL EXPRESSION

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|-----|----|----|----|----|-----|----|
| CG | CON | DE | CR | CW | CG | CR | DB | CR | CON | DE | CR | S | DB | CR | CON | DE |
| FB | FE | N | N | FE | FE | N | N | N | N | N | N | 1 | N | N | FB | N |
| CP | DE | CR | CP | CR | CON | DB | CON | S | DB | CON | R | CR | DB | CP | CON | FE |
| N | N | N | N | N | N | N | FE | 2 | N | FE | FE | N | N | N | N | FE |

審判員の採点：0.00／0.30

N-表情がない
FE-表情がある



PLEASE, CHECK

ダンスの開始動作から**8秒間全て**においてステップがはっきりと見えること

- ✓ 8秒間を通して**リズム**を伴い調和した動き
- ✓ 8秒間を通して**明確な特徴**
- ✓ **多様性と位置の変化を伴う**
 - ・ 最低2つの異なる種類のステップ
 - ・ Sの一部は移動を伴って実施すること
 - ・ Sの一部は立位姿勢で実施すること
- ✓ **プレアクロバット要素、高い投げ、CC、DB**、価値が0.2またはそれ以上は実施することができない



ダンスステップコンビネーション



- ✓ 8秒間
- ✓ リズムを伴い調和した動き
- ✓ 8秒間を通して明確な特徴
- ✓ 多様性と位置の変化を伴う
- ✓ プレアクロバット要素、高い投げ、CC、DB、価値が0.2またはそれ以上を含まない

- ✓ 8秒間
- ✓ リズムを伴い調和した動き
- ✓ 8秒間を通して明確な特徴
- ✓ 多様性と位置の変化を伴う
- ✓ プレアクロバット要素、高い投げ、CC、DB、価値が0.2またはそれ以上を含まない



ダンスステップコンビネーション

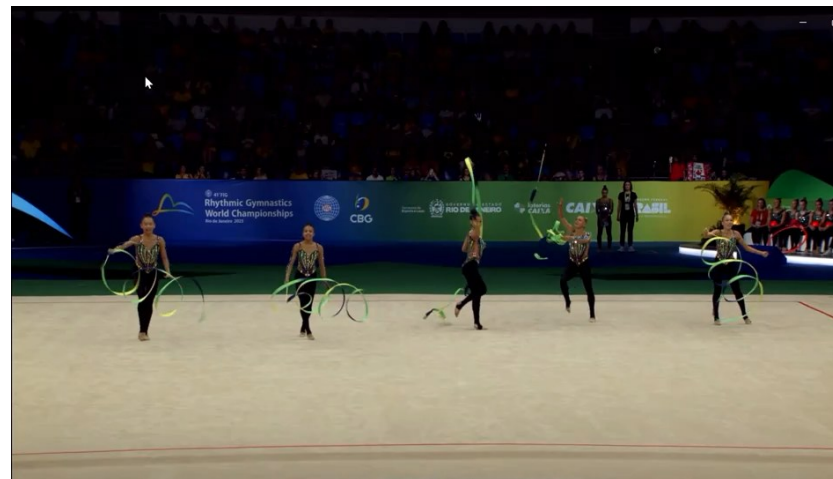


- ✓ 8秒間
- ✓ リズムを伴い調和した動き
- ✓ 8秒間を通して明確な特徴
- ✓ 多様性と位置の変化を伴う
- ✓ プレアクロバット要素、高い投げ、CC、DB、価値が0.2またはそれ以上を含まない

- ✓ 8秒間不足 (7秒間のみ)
- ✓ リズムと動きが調和していない
- ✓ 8秒間を通して明確な特徴がない
- ✓ 多様性と位置の変化を伴う
- ✓ プレアクロバット要素、高い投げ、CC、DB、価値が0.2またはそれ以上を含まない



ダンスステップコンビネーション



- ✓ 8秒間不足 (6-7秒のみ)
- ✓ リズムを伴い調和した動き
- ✓ 8秒間を通して明確な特徴
- ✓ 多様性と位置の変化を伴う
- ✓ プレアクロバット要素、高い投げ、CC、DB、価値が0.2またはそれ以上を含まない

- ✓ 8秒間不足 (7秒のみ)
- ✓ リズムを伴い調和した動き
- ✓ 8秒間を通して明確な特徴
- ✓ 多様性と位置の変化を伴う
- ✓ プレアクロバット要素、高い投げ、CC、DB、価値が0.2またはそれ以上を含まない

注:前方の選手が行う要素はプレアクロバットではありません。



ダイナミックチェンジ



6.1.7. ダイナミックチェンジが**芸術評価に必須の要素として認められるためには、5名すべての選手達**が参加すること。選手達は異なる役割を持ちうる。

団体で可能な例

4つのダイナミックチェンジ+0つのエフェクト

3つのダイナミックチェンジ+1つのエフェクト

2つのダイナミックチェンジ+2つのエフェクト など



説明：

- 審判がダイナミックチェンジと判断した正確な秒数を表と動画で示します
- すべての可能性はTCによって分析されました
- 緑色で示されているのは、TCがダイナミックチェンジと判断した瞬間です



ダイナミックチェンジ



例

1

| | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|------|------|------|------|
| a | 1:09 | 1:33 | - | - |
| b | 1:01 | 1:31 | 2:25 | - |
| c | 0:28 | 1:01 | 2:01 | 2:31 |
| d | 1:01 | 1:36 | 2:25 | - |
| e | 0:56 | 1:01 | 1:28 | 1:41 |

審判員 2 名は 4 回のダイナミックチェンジを認定

審判員 2 名は 3 回のダイナミックチェンジを認定

審判員 1 名は 2 回のダイナミックチェンジを認定

技術委員は 2 回のダイナミックチェンジを認定

減点 : 0.6



0:28-音楽は変化する
しかし選手たちは変化しない



0:56-音楽と選手たちは変化しない



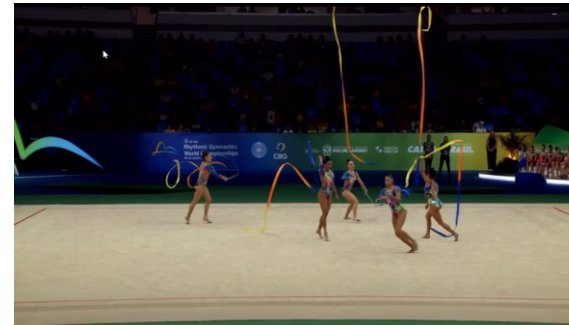
1:02-音楽と選手たちは変化する



1:28-音楽は変化する
しかし選手たちは変化しない



1:36-エフェクトは無いが、
音楽と動きの良い瞬間のみある



2:00-音楽は変化するが、
選手たちは変化せず
ポーズのみ



2:25-音楽と選手たちは変化する



ダイナミックチェンジ



例

2

| | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|------|------|------|---|
| a | 1:50 | - | - | - |
| b | 0:23 | 1:12 | - | - |
| c | 0:28 | 1:46 | - | - |
| d | 1:15 | 1:45 | 2:24 | - |
| e | - | - | - | - |

審判員 1 名は 3 回のダイナミックチェンジを認定
審判員 2 名は 2 回のダイナミックチェンジを認定
審判員 1 名は 1 回のダイナミックチェンジを認定
審判員 1 名はダイナミックチェンジを 1 回も認定しなかった

技術委員は 1 回のダイナミックチェンジを認定

減点 : 0.9



0:22-音楽と選手たちは変化する



1:58-音楽は変化する
しかし選手たちは変化しない
同じ強度で演技し続ける



1:12-音楽は変化する
しかし選手たちは変化しない
同じ強度で演技し続ける



2:24-音楽は変化する
しかし選手たちは変化しない
エフェクト無し



ダイナミックチェンジ



例

3

| | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|------|------|---|---|
| a | 1:10 | 1:16 | - | - |
| b | - | - | - | - |
| c | 1:25 | 2:02 | - | - |
| d | 1:15 | 2:21 | | - |
| e | 1:52 | - | - | - |

審判員 3 名は 2 回のダイナミックチェンジを認定

審判員 1 名は 1 回のダイナミックチェンジを認定

審判員 1 名はダイナミックチェンジを 1 回も認定しなかった

技術委員は 1 回のダイナミックチェンジを認定

減点 : 0.9



エフェクト無し
音楽と動きの良い瞬間のみある



1:15-音楽は変化するが
5名すべての選手の
変化はない



1:25-音楽と選手たちは変化する



1:52-ミスをした後に始まっているものは、
必ずしもダイナミックチェンジを意味する
ものではないため、注意する！



2:10-音楽は変化するが
選手たちは演技終了まで変化しない



ダイナミックチェンジ



例

4

| | 1 | 2 | 3 | 4 |
|-----------|-------------|------|------|------|
| A1 – 0,00 | 0:41 + 0:44 | 1:22 | 1:38 | 1:56 |
| A2 – 0,30 | 1:21 | 1:52 | 2:28 | - |
| A3 – 0,30 | 1:22 | 1:46 | 2:30 | - |
| A4 – 0,60 | 0:38 | 1:15 | - | - |
| SJ – 0,00 | 0:58 | 1:22 | 1:39 | 1:51 |

審判員 2 名は 4 回のダイナミックチェンジを認定

審判員 2 名は 3 回のダイナミックチェンジを認定

審判員 1 名は 2 回のダイナミックチェンジを認定

技術委員は 4 回のダイナミックチェンジを認定

減点：0.0



0:41-エフェクト



0:44-音楽と選手たちは変化する



0:58-音楽は変化するが
選手たちは変化しない



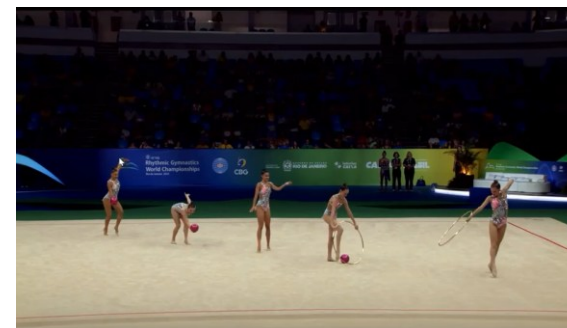
1:21-音楽と選手たちは変化する



1:36-ダイナミックチェンジは音楽
の変化と一致しなければならない
ここでは、選手たちが音楽の変化
とは関係なくリズムを変化させて
しまっている



1:46-エフェクト



1:56-音楽は変化する
しかし一時停止後、選手たちは
強度を変化しない



2:25-音楽と選手たちは変化
しない
同じ強度（1名の選手のみ
が変化する）



共同作業



同時

- ・ 同時に最低2秒

コーラル

- ・ 5名のすべての選手たちが連続して異なる役割を最低2秒

素早い 連続／カノン

- ・ 最初の選手またはサブグループが動きのシーケンスを開始してから、最後の選手またはサブグループが動きのシーケンスを終了するまで最低2秒

コントラスト

- ・ 連続した対比に最低2秒



共同作業



コントラスト-2秒未満



同時-OK

コントラスト-2秒未満



素早い連続-無効

(5名全ての選手たちが直接演技に関与する必要がある；最後の選手は演技に参加していない)

コーラル-OK

減点
0.60

審判員の評価：0.00/0.30/0.60



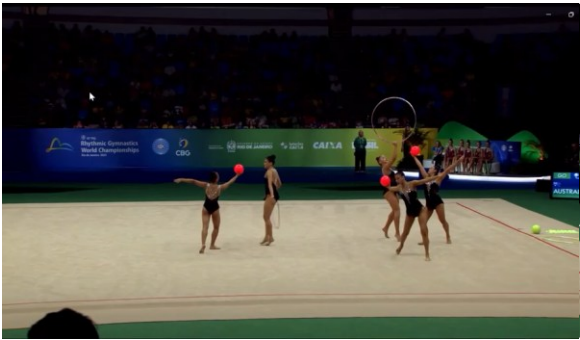
共同作業



コーラル-OK

同時-OK

減点
0.30



素早い連続-OK

コントラスト-2秒未満

審判員の評価：0.00/0.30/0.60

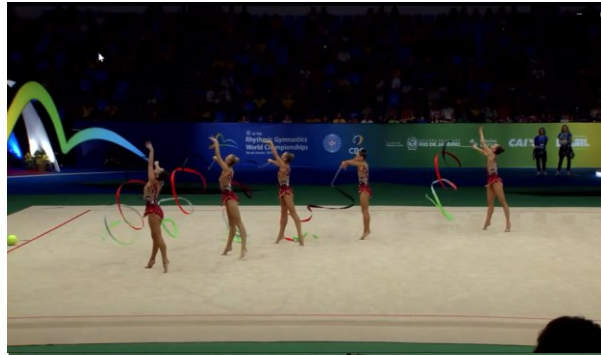


共同作業 - より良い例!!



良い例!

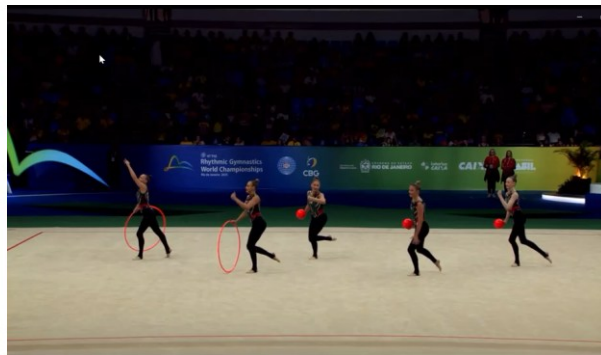
カノンとは、前の選手/サブグループが動きのシーケンスを**完了**した時点で、次の選手/サブグループが動きのシーケンスを開始することを意味する；実施中に時間的な重複はない



コントラスト-OK
同時-OK



素早い連続-OK
コーラル-OK



コントラスト-OK



コーラル-OK
コントラスト-OK



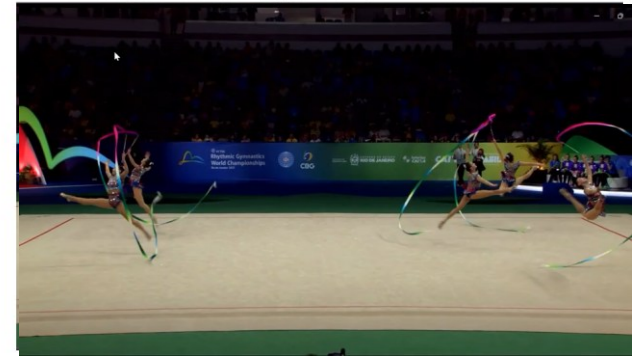
手具と選手間の接触に、 審判はもっと注意を払う必要がある!!



4秒間
問題なし



5秒間 -0.30
審判員は誰も減点しなかった



5秒間 -0.30
審判員は誰も減点しなかった



4秒間 問題なし
しかし、3名の審判員が減点した



4秒間 問題なし
しかし、1名の審判員が減点した





手具と選手間の接触に、 審判はもっと注意を払う必要がある!!



6 秒間 -0.30

しかし、1名の審判員のみが減点した



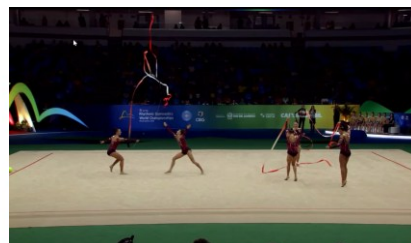
7 秒間 -0.30

しかし、1名の審判員のみが減点した



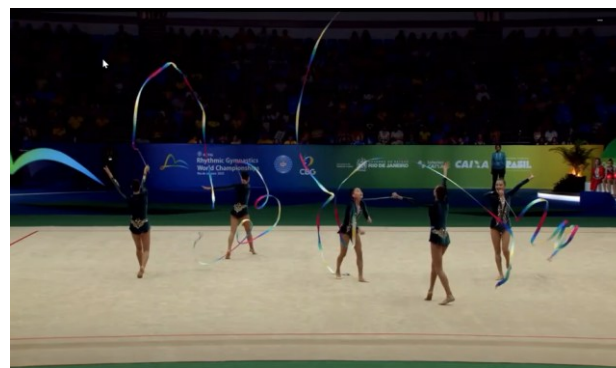
6 秒間 -0.30

しかし、1名の審判員のみが減点した



5 秒間 -0.30

しかし、1名の審判員のみが減点した



5 秒間 -0.30

しかし、1名の審判員のみが減点した



7 秒間 -0.30

しかし、1名の審判員のみが減点した



音楽のない終了 より注意を払ってください!!



前回の世界選手権では、全審判による0.3の減点はありませんでした

なぜか？



-0.30

3名の審判員のみが減点した



-0.30

2名の審判員のみが減点した



-0.30

1名の審判員のみが減点した



-0.30

1名の審判員のみが減点した



-0.30

3名の審判員のみが減点した



-0.30

3名の審判員のみが減点した



つなぎとリズム



非論理的なつなぎは、そのつど0.10点、最大2.00点までの減点となる。



アクセントまたはフレーズの変化とは別に実施された、または音楽によって確立されたテンポから逸脱した動きは、そのつど0.10点、最大2.00点までの減点となる。



連続性の中断 × リズム



連続性
の中断
0.60



連続性
の中断
0.60



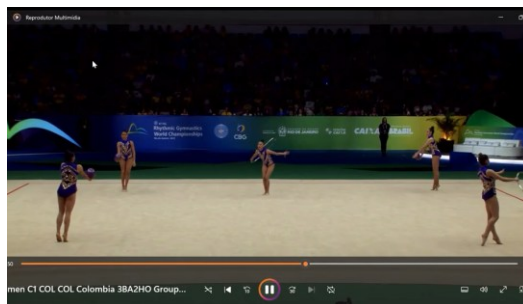
リズム = 0.20+
連続性
の中断
0.60



連続性
の中断
0.60



連続性
の中断
0.60



リズム = 0.50



リズム = 0.40



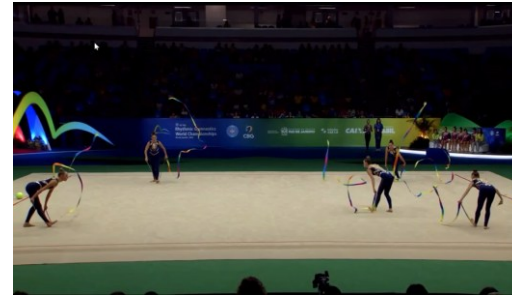
連続性の中断 × リズム



リズム = 0.30



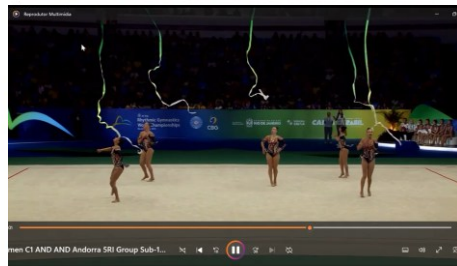
連続性の中断
0.60



リズム = 0.30



連続性の中断
0.60



連続性中断
0.60



リズム = 0.40



芸術 × 実施



もう一度：構成とパフォーマンス、
芸術と実施の違いを理解してください

新体操の構成とは、FIG採点規則と選手の能力に基づき、振り付けされ、競技会に向けて準備・訓練された一連の動きのことである。

芸術性パフォーマンスとは、動きまたはタイミングを調整することなどにより、特定の瞬間における選手による構成の披露または実施することである。

技術におけるパフォーマンスは、各要素が美しさとミスのない技術的完成度を伴って実施する必要がある。

注意：これらは同じことではありません！



实施



1.5. ...

・小さいミス**0.10点**

完全な実施からに小さなまたはわずかな誤差

・中くらいのミス**0.30点**

完全な実施からの明らかなまたは重大な誤差

・大きなミス**0.50点**またはそれ以上

完全な実施からの大きなまたは逸脱した誤差

1.6. 実施欠点は各要素に対し毎回減点すること。



誤差



- 0.10点 - 脚の小さな誤差
- 0.30点 - 胴体の中くらいの誤差
- 0.10点 - 足
- 0.10点 - 胴体の非対称な位置
- 0.30点 - バランスを失い移動する



- 0.30点 - 脚の中くらいの誤差
- 0.30点 - 形の保持なし



- 0.30点 - 胴体の中くらいの誤差
- 0.30点 - 形の保持なし



- B:0.10点 - 脚の小さな誤差
- 0.30点 - 胴体の中くらいの誤差
- J:0.50点 - 脚の誤差（前脚が上がってないため、スイッチが不足）



- 0.10点 - 胴体の小さな誤差
- 0.10点 - 足
- 0.30点 - 形の保持なし
- 0.30点 - バランスを失い移動する



2.1.1.4. 回転要素



後方

膝の曲がり - 0.10点

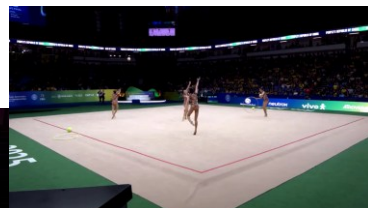
足 - 0.10点

(両手受け - 0.10点

不正確な軌道 - 0.10点)



バランス



最低1秒間の保持がない - 0.30点

移動を伴う余分な動き - 0.30点



最低1秒間の保持がない - 0.30点

胴体の中くらいの誤差 - 0.30点

膝 - 0.10点

足 - 0.10点



フェットテバランス



- 0.10点 - 膝
- 0.10点 - 足
- 0.30点 - 脚の誤差
- 0.10点 - 床に触れる

フェットテバランスは**1DB**：

DBの最も不完全だった形に対してのみ誤差の減点が適用される。

しかし、

その形に複数の減点が入ることがある



- 0.10点 - 膝
- 0.10点 - 足
- 0.50点 - 脚の誤差
- 0.10点 - 床に触れる
- 0.10点 - 同時性



ジャンプの誤差



0.30点 - 開脚の大きな誤差

0.10点 - スウィングテクニックを伴うジャンプ/リープ
("シーソーの動き")

0.10点 - 足

0.10点 - 同時性

2.1.5. スウィングテクニックを伴うジャンプ/リープ:

ジャンプ/リープは3つの局面がある:

- 踏み切り、空中、着地

選手は**2**つの異なる形を見せるのではなく、ジャンプ/リープの最大限の可能性（要求される形）を空中での最高地点にて発揮すること。

この必須条件が満たされない場合、"スウィングテクニック"
(シーソーの動き) の減点が適用される。



実施減点



RHYTHMIC GYMNASTICS



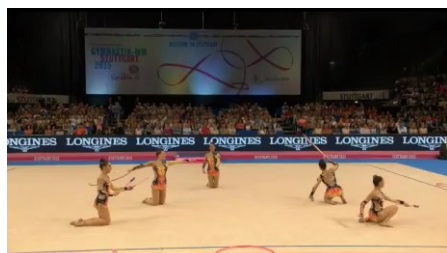
両手受け **0.10点**
不完全な動き **0.10点**



不注意による身体との接触
を伴った不正確な受け
- **0.30点**



不正確な受け - **0.10点**
(側転の膝の曲がりにつ
き: **0.10点**)



手具を喪失して移動せずに
取り戻す**0.50点**
不完全な受け (2名) **0.10点**
手具を喪失して1-2歩の移動
の後に取り戻す:**0.70点**



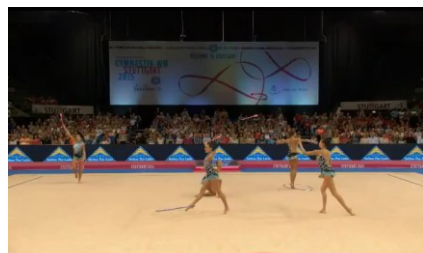
フロア外に手具を喪失
1.00点



手具を喪失して3歩以上の移動
の後に取り戻す **1.00点** (ク
ラブ) +**1.00点** (フープ)
大きな誤差 - **0.50点**



不正確な軌道により3-4歩
移動して受ける (クラブ)
- **0.30点**
手具を喪失して移動せずに
取り戻す **0.50点**



手具を喪失して3歩または
それ以上の移動の後に取り
戻す **1.00点**
不正確な軌道により3-4歩
移動して受ける **0.30点**



バランスを失う - **0.50点**
大きな誤差 - **0.50点**



手具を喪失し演技終了時に
手具との接触なし **1.00点**



軌道 - **0.10点**



パート練習



- 0.10点 - 足（プレアクロ）
- 0.30点 - 不正確な軌道と空中下で3歩移動しての受け
- 1.00点 - 手具を喪失して3歩以上の移動の後に取り戻す
- 0.10点 - 意図しない身体への接触
- 0.30点 - リボンの一部が床に残る



- 1.00点 - 手具を喪失して4歩以上の移動の後に取り戻す
- 1.00点 - 手具を喪失して4歩以上の移動の後に取り戻す
- 0.70点 - 手具を喪失して1歩の移動の後に取り戻す、選手の転倒
- 0.70点
- 0.30点 - 選手の静止
- 1.00点 - 手具を喪失して3歩以上の移動の後に取り戻す
- 0.50点 - 脚の誤差（フェット）
- 0.10点 - 不正確な軌道と空中下で2歩移動しての受け



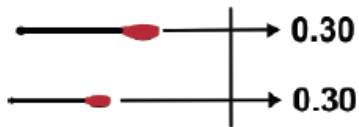
線審/リマインダー



RHYTHMIC GYMNASTICS

9.4.1. 演技面外に2本のクラブの連続した喪失:

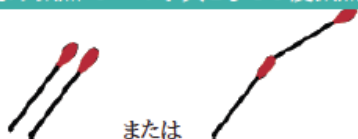
線審より減点:1本目のクラブ 0.30点+2本目のクラブ 0.30点



2本のクラブを連続して喪失 **0.30点+0.30点**

9.4.2. 同じ選手が同じライン外で同時に2本のクラブ(ジョイントまたはジョイントされていない)を喪失:

線審より減点:1つの手具として1度減点 0.30点



同じ選手が同じラインに同時に喪失 **0.30点**

9.4.4. 演技面外に2つまたはそれ以上の連結された手具(同じまたは異なる手具)を同時に喪失:

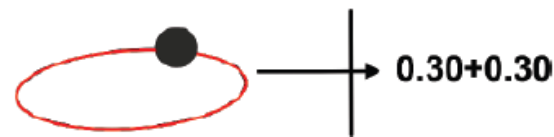
線審より減点:1つの手具として1度 0.30点



連結させた2個またはそれ以上の手具を同時に喪失 **0.30点**

9.4.3. 演技面外に2つまたはそれ以上の手具(同じまたは異なる種類)を異なるライン外または異なる選手達によって同時に喪失:

線審より減点:各手具に対し 0.30点



同じまたは異なる手具が同時に場外へ出た場合(同じラインか別のラインか、あるいは同じ選手か別の選手かにかかわらず)
0.30点+0.30点



**WE ARE
GYMNASTICS!**
GYMNASTICS.SPORT